



徳島市地域公共交通会議

平成25年度第2回会議資料

(渋野線・五滝線実証運行計画 (素案))

平成26年1月31日

1 市バス路線の再編について(概要)

○本市の将来の路線バスを中心とした公共交通の在り方と実現に向けた施策や事業を示した「徳島市地域公共交通総合連携計画」を平成22年3月に策定した。

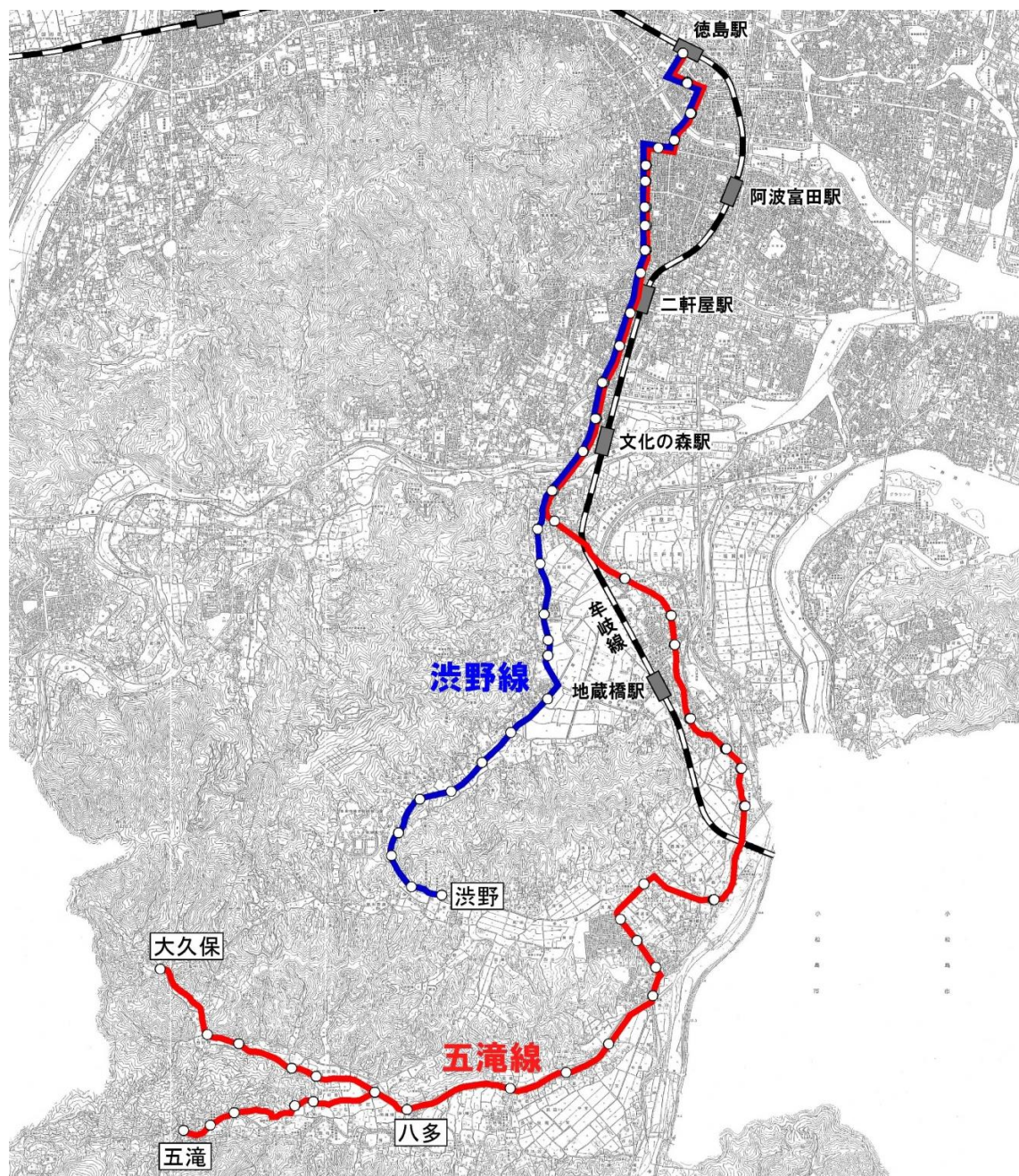
○この計画において、交通局が運行する路線のうち、郊外を走る大幅な赤字路線を移行予定路線とし、段階的に市長部局へ路線の運営を移行していく徳島市営バス路線再編事業計画を推進していくこととしている。

○移行予定路線を方面別に区分し、平成23年度から平成26年度までの間に移行を行う。

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
川内線 宮島線 ※「川内循環線」 として運行中	天の原西線 一宮線 17号線	不動線 大神子線	渋野線 五滝線

○移行にあたっては、利用状況や地域の意向等を踏まえながら、運行形態を見直し、民間委託等の方法により運行を行う。

2 平成26年度 移行予定路線図



3 渋野線の運行概要等

(1) 運行状況

《時刻表》

2番のりば **渋野** (とくしま動物園)
 路線番号 **11** (両国・大道・法花・方上方面)

平日		土曜・日祝	
徳島駅発	渋野発	徳島駅発	渋野発
7:25	7:20	7:50	7:20
50	8:00	動	9:00
動 9:00	30	動	10:35
動 10:35	9:35	動	11:50
動 11:50	動 11:10	動	13:30
動 13:30	動 12:25	動	14:40
動 14:40	動 14:05	16:50	動 15:15
16:50	動 15:15	18:10	動 17:30
18:10	動 17:30	19:05	18:50
19:05	18:50	20:10	19:40
20:10	19:40		

※動＝動物園経由(休園日は経由運行しません。)
 休園日は毎月曜日(月曜が祝日の場合は翌日)及び年末年始。



3 渋野線の運行概要等

(2)利用状況等

バスに調査員が乗車し、利用実態、利用者ニーズ等の聞き取り調査、バス停ごとの乗降者数の調査を行った。

- ・ 調査日 平成25年9月26日(木)・27日(金)・28日(土)

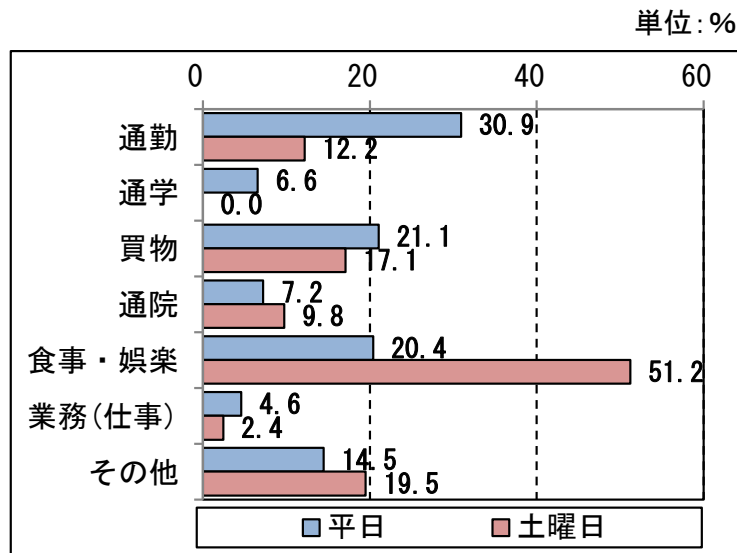
①利用者数

H25調査	9/26(木)	9/27(金)	9/28(土)
1日あたり利用者数(人)	131	201	231
1便あたり利用者数(人)	6.0	9.1	12.2

②利用の目的

○平日は、通勤・通学が37.5%と最も多く、次いで、買物が21.1%、食事・娯楽が20.4%である。

○土曜日は、食事・娯楽が51.2%と最も多く、次いで、買物が17.1%である。



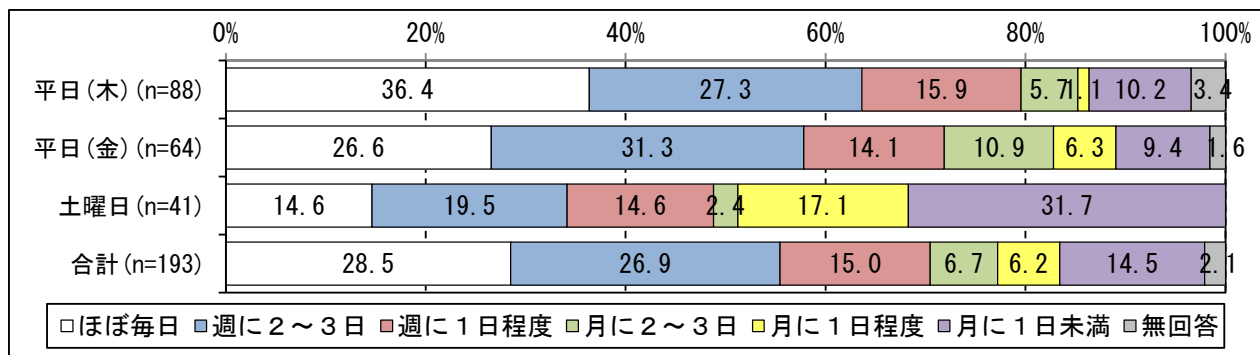
※複数回答可のため合計100%にならない。

3 渋野線の運行概要等

(2)利用状況等

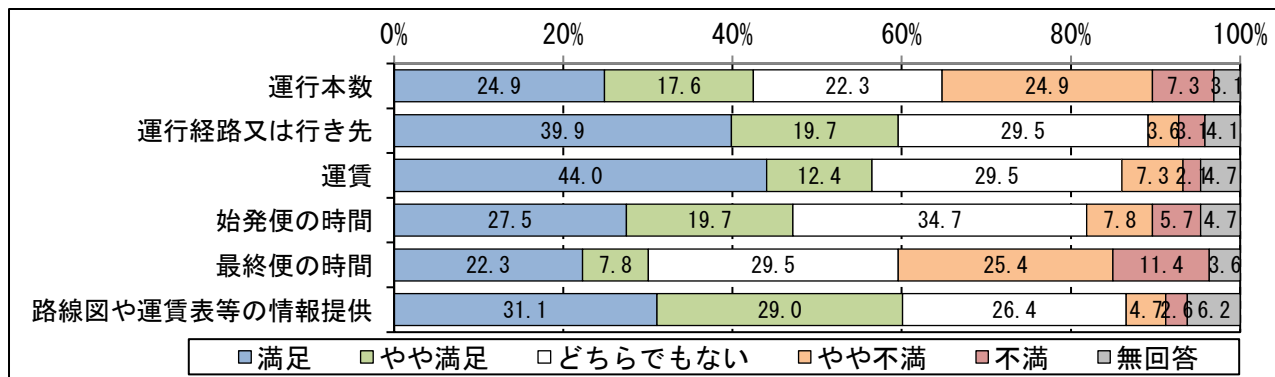
③利用頻度

○平日は、「ほぼ毎日」と「週に2~3日」が多く、土曜日は、「月に1日未満」が多い。



④サービスの満足度

○路線図や運賃表等の情報提供、運行経路又は行き先、運賃に満足(満足+やや満足)している人の割合が多い。



⑤収支

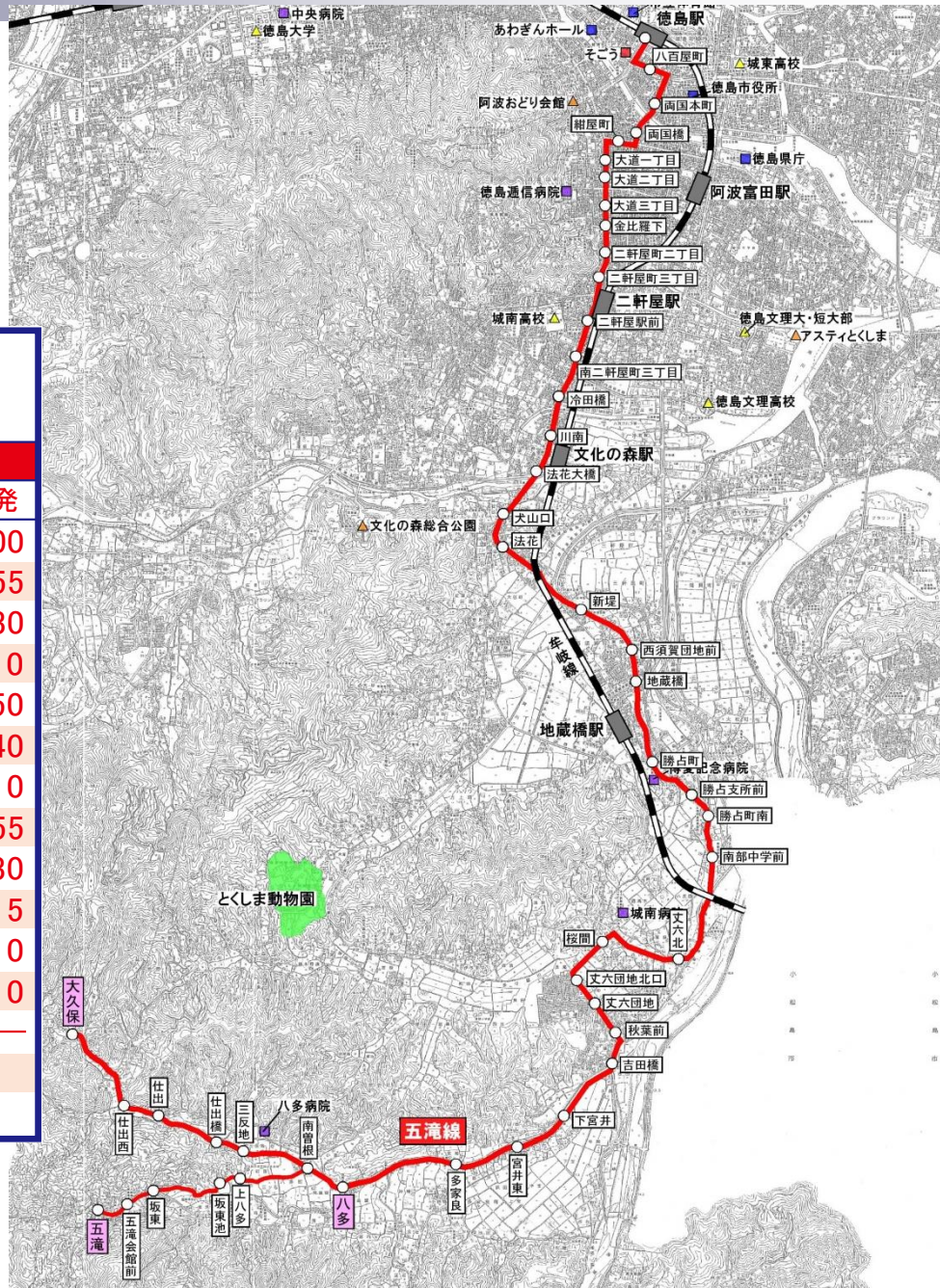
○運行収支(H24)・・・営業収益13,735千円、営業費用36,383千円、収支率37.8%

4 五滝線の運行概要等

(1) 運行状況

《時刻表》

2番のりば 八多・五滝・大久保					
路線番号11 (両国・大道・法花・丈六・多家良方面)					
平日			土曜・日祝		
徳島駅発	行先	終点発	徳島駅発	行先	終点発
6:20	五滝	7:00	6:20	五滝	7:00
7:10	大久保	55	7:10	大久保	55
8:00	八多	8:40	8:45	五滝	9:30
45	五滝	9:30	10:25	八多	11:10
9:25	八多	10:05	11:55	五滝	12:50
10:25	八多	11:10	12:55	八多	13:40
11:55	五滝	12:50	14:25	八多	15:10
12:55	八多	13:40	15:00	五滝	55
14:25	八多	15:10	16:45	八多	17:30
15:00	五滝	55	17:20	五滝	18:15
16:45	八多	17:30	18:15	大久保	19:10
17:20	五滝	18:15	19:25	五滝	20:10
18:15	大久保	19:10	20:50	八多	—
19:25	五滝	20:10			
20:50	八多	—			



4 五滝線の運行概要等

(2)利用状況等

渋野線と同様、バスに調査員が乗車し、利用実態、利用者ニーズ等の聞き取り調査、バス停ごとの乗降者数の調査を行った。

- ・ 調査日 平成25年9月26日(木)・27日(金)・28日(土)

①利用者数

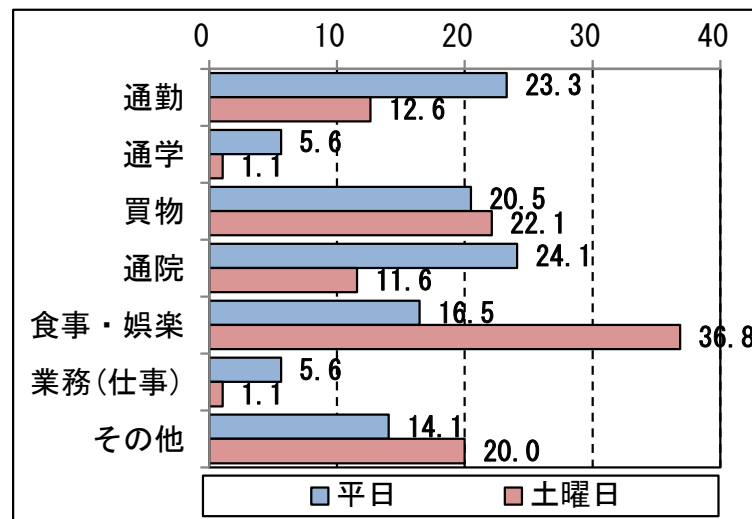
H25調査	9/26(木)	9/27(金)	9/28(土)
1日あたり利用者数(人)	313	369	264
1便あたり利用者数(人)	10.8	12.7	10.6

単位: %

②利用の目的

○平日は、通勤・通学が28.9%と最も多く、次いで、通院が24.1%、買物が20.5%である。

○土曜日は、食事・娯楽が36.8%と最も多く、次いで、買物が22.1%である。



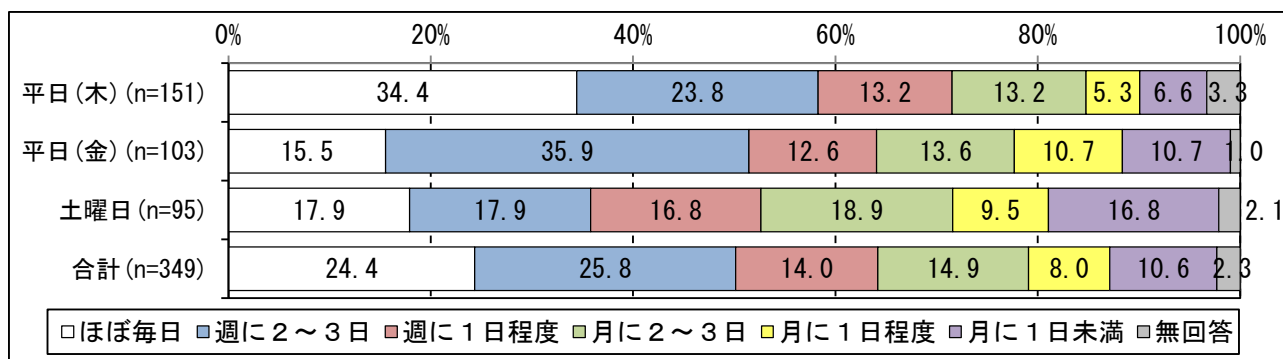
※複数回答可のため合計100%にならない。

4 五滝線の運行概要等

(2)利用状況等

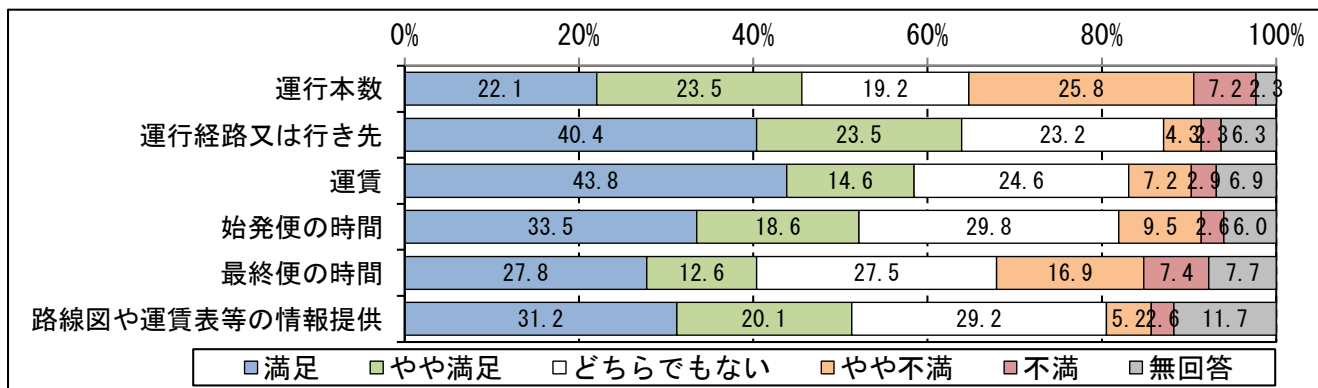
③利用頻度

○平日は、「ほぼ毎日」と「週に2～3日」が多く、土曜日は、「月に2～3日」が多い。



④サービスの満足度

○運行経路又は行き先、運賃に満足(満足+やや満足)している人の割合が多い。



⑤収支

○運行収支(H24)・・・営業収益28,079千円、営業費用72,616千円、収支率38.7%

5 地元意見

平成25年10月・11月に沿線地域のコミュニティ協議会等に意見聴取を行った。

主な意見

- 渋野線の終点から丈六方面への道路の拡幅が行われたことに伴い運行ルートを支六方面まで延伸してはどうか。
- 通学客の乗りかえを考慮して始発時間を繰りあげてほしい。(渋野線)
- 丈六団地は住民の高齢化が進み、バスは通院・買物の足となっていることや、五滝線沿線はガラススタジオ、丈六寺などへの利用があるため、便数は減らさないでほしい。
- 渋野線と五滝線は一部同じルート(法花～二軒屋～徳島駅)を運行しているが、沖浜地区等での買物に利用できるように国道55号バイパスを経由するルートも考えてみたらどうか。

6 現行路線の課題

- 多家良方面から国道55号バイパス方面への利用は、近距離でありながら徳島駅付近でバスを乗りかえなければならない。
- 丈六団地住民の利用が多いが、今後、住民の高齢化により現状の便数では対応が難しくなることが予想される。
- 渋野バス停から丈六方面にかけての地域は、公共交通不便地域である。
- 観光施設の丈六寺(国・県指定重要文化財)へのアクセスが不便である。
- 道路整備に伴う通行環境の向上により、新しい運行ルートの設定が可能になるとともに、新しいルート設定による新規利用客の掘り起こしが必要である。
- 市役所周辺に停留所の設置要望がある。
- 渋野線・五滝線ともに収支率が低く、利用者のほとんどない時間帯がある。

7 実証運行計画(案)

渋野線

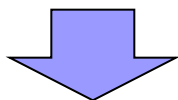
①運行ルート

【渋野線】

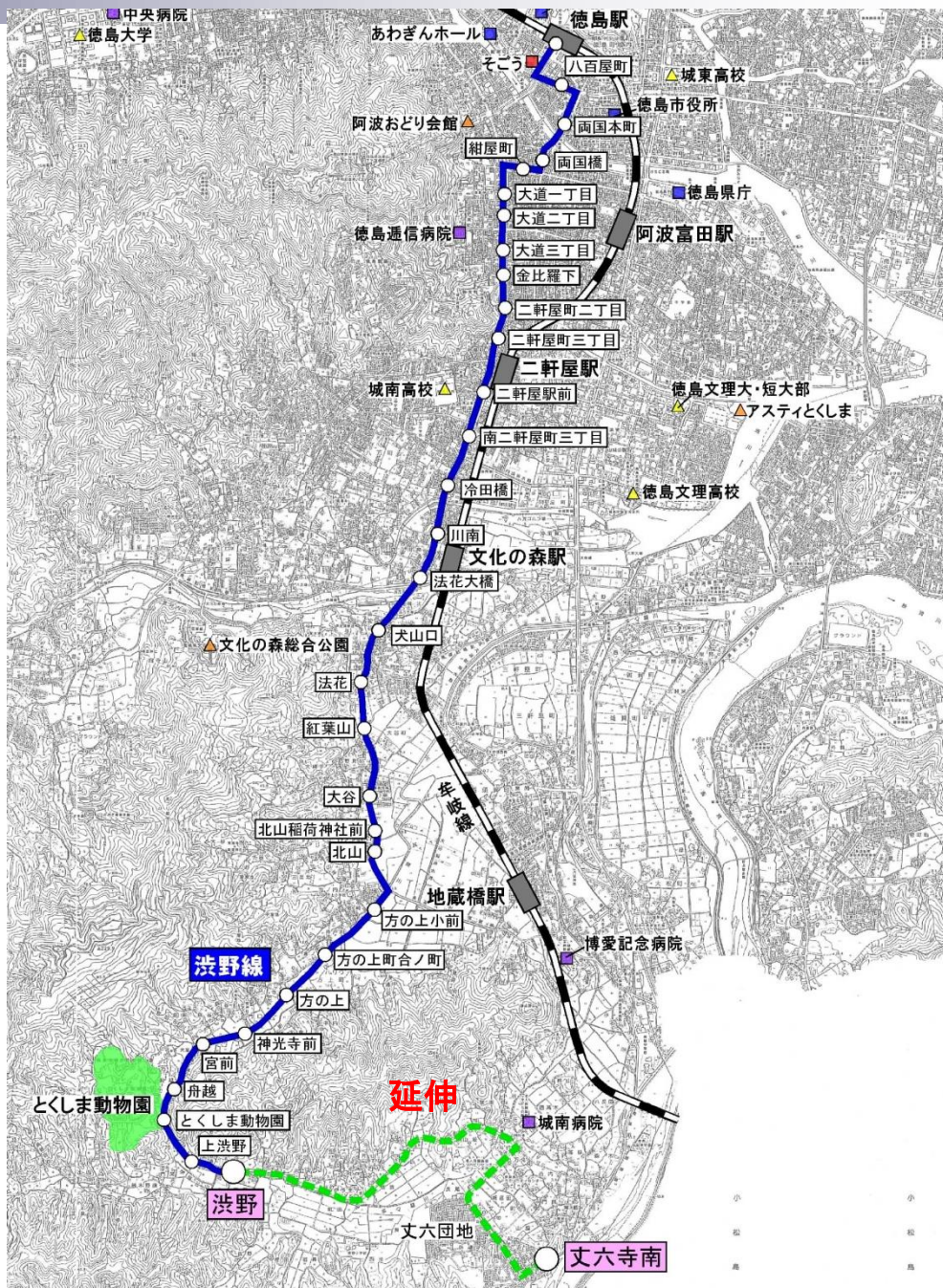
○「運行経路又は行き先」は満足している人の割合が多い。

○渋野終点から丈六方面への県道八多法花線の拡幅整備に伴い、渋野から丈六への延伸について地元から要望がある。

○高齢化する丈六団地住民と丈六寺訪問客の利便性向上を図る。



○運行ルートを渋野から丈六団地を経由して丈六寺南まで延伸する。



7 実証運行計画(案) 渋野線

②新設ルート詳細

○新設ルート上の渋野小学校付近に2か所、停留所を新設。

○丈六寺の南西の空き地を終点(回転場)とする。



渋野小学校付近



丈六寺南

7 実証運行計画(案)

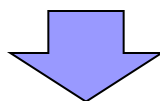
五滝線

①運行ルート

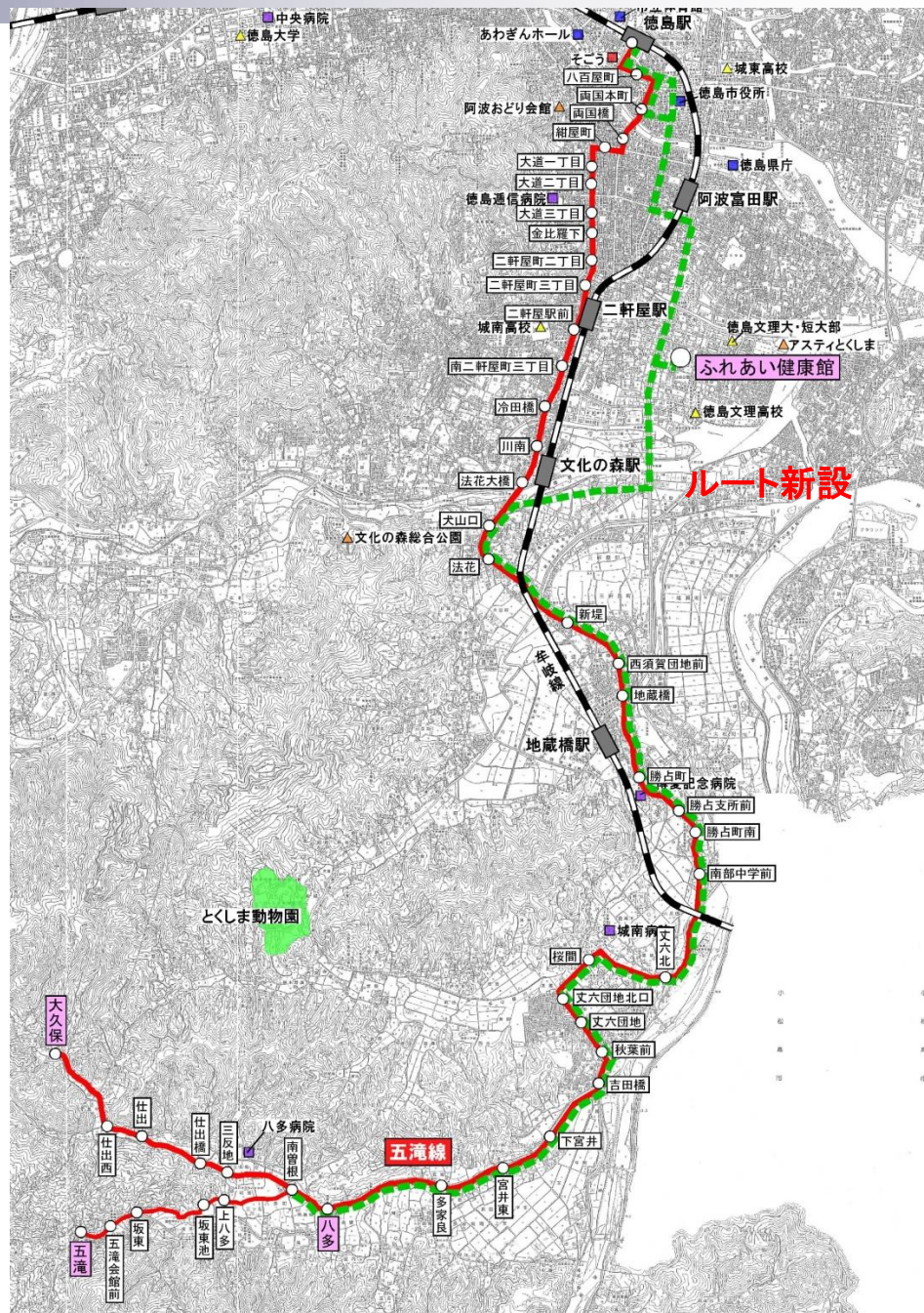
【五滝線】

○「運行経路又は行き先」は満足している人の割合が多い。

○法花～徳島駅の区間は、渋野線および市バス法花線と競合している。



○運行ルートは現行を基本とし、一部の便で国道55号バイパス経由(八多～法花～南環状線～ふれあい健康館～幸町～徳島駅前)を新設する。



7 実証運行計画(案) 五滝線

②新設ルート詳細

《国道55号バイパス付近》

- ふれあい健康館やバイパス沿線の店舗へのアクセスを向上させる。
- 大野交差点西側に停留所を新設。



ふれあい健康館



大野交差点西側

7 実証運行計画(案) 五滝線

②新設ルート詳細

《富田橋付近》

○市役所へのアクセスを向上させる。

○新設ルート上の南内町付近、富田小学校付近の2か所に停留所を新設。

○富田橋通りには一宮線の上り便の停留所があるため、下り便の停留所を新設。



富田橋通り



南内町付近



富田小学校付近



富田橋通り

7 実証運行計画(案)

渋野線・五滝線

③運行ダイヤ

○渋野線の丈六寺南までの延伸に伴い、一部同じルートを運行する五滝線とのダイヤ調整を行う。

○渋野線の始発時間を通学客の乗りかえに配慮して、15分程度繰りあげる。

○五滝線の朝夕のラッシュ時以外の便で往復2便程度を新設する国道55号バイパス経由に変更する。

○利用客のほとんどない便については減便を検討する。

④運行事業者の選定方法

○運行経費の多寡だけでなく、安全性や利用者利便の確保等について企画・提案をさせ、提案内容や業務遂行能力等を審査したうえで、最も評価の高い事業者と契約を行うプロポーザル方式により選定を行う。

⑤運行開始予定日

平成26年10月1日

8 今後のスケジュール

作業項目	平成26年										備考	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
運行事業者の選定				↔								プロポーザル方式による選定
運行許可手続き							↔					運輸支局へ申請
停留所整備								↔				6か所新設等
PR活動、情報提供								↔				市広報紙掲載・リーフレット配布等
実証運行開始											→	10月1日運行開始
地域公共交通会議の開催	●											

時刻表等配布

渋野線・五滝線の実証運行計画(最終案)